

## セレクションのモデル (具体例) (あくまでものモデルなので、実際的人数、推薦の要件とは大きく異なります。)

(例) 各学部の推薦要件が以下のようなのだと仮定します。

A 学部	募集人員 1 名	文理の区分：文系・理系	標準化得点の全体順位 9 割以上
B 学部	募集人員 1 名	文理の区分：文系・理系	標準化得点の全体順位 8 割以上
C 学部	募集人員 1 名	文理の区分：文系・理系	標準化得点の全体順位 9 割以上
D 学部	募集人員 2 名	文理の区分：文系・理系	標準化得点の全体順位 8 割以上
E 学部	募集人員 3 名	文理の区分：文系・理系	標準化得点の全体順位 8 割以上

学部から推薦要件に標準化得点の全体順位 8 割以上と書かれていれば、全付属生の上位 80 % の成績の者しかその学部へのセレクションへ参加する事ができない事を意味します。

また、文系・理系は 3 年生の 9 月に受験する科目で決まります。

(9 名全員が上位 80% 以内の生徒と仮定)

順位	受験番号	総合点	第一志望	第二志望	第三志望	セレクションの結果
1	10002	251.7	A 学部	B 学部	C 学部	順位が一番高いので第 1 志望の A 学部への推薦者として出願します。
2	10007	248.7	A 学部	B 学部	C 学部	第 1 志望の A 学部の募集人員 1 名の枠が既に上位の生徒で確定してしまったため、第 2 志望の B 学部への推薦者として出願します。
3	10008	243.7	B 学部	A 学部	C 学部	第 1 志望の B 学部の募集人員 1 名と第 2 志望の A 学部の募集人員 1 名の枠が既に上位の生徒で確定してしまったため、第 3 志望の C 学部への推薦者として出願します。
4	10006	242.7	C 学部	D 学部	希望無し	第 1 志望の C 学部の募集人員 1 名の枠が既に上位の生徒で確定してしまったため、第 2 志望の D 学部への推薦者として出願します。
5	10003	242.1	A 学部	C 学部	B 学部	第 1 志望、第 2 志望、第 3 志望の学部の募集人員の枠が既に上位の生徒で確定してしまったため、いずれの学部にも出願することができません。→2 回目のセレクションへ
6	10001	241.5	B 学部	C 学部	A 学部	第 1 志望、第 2 志望、第 3 志望の学部の募集人員の枠が既に上位の生徒で確定してしまったため、いずれの学部にも出願することができません。→2 回目のセレクションへ
7	10009	239.2	C 学部	A 学部	E 学部	第 1 志望の C 学部の募集人員 1 名と第 2 志望の A 学部の募集人員 1 名の枠が既に上位の生徒で確定してしまったため、第 3 志望の E 学部への推薦者として出願します。
8	10005	235.3	C 学部	B 学部	A 学部	第 1 志望、第 2 志望、第 3 志望の学部の募集人員の枠が既に上位の生徒で確定してしまったため、いずれの学部にも出願することができません。→2 回目のセレクションへ
9	10004	232.0	D 学部	E 学部	希望無し	D 学部への推薦者として出願します。